

## 校区の状況

### 1. 地域の実態

この地域は、宮という地名の由来ともなっている日前宮を中心に、黒田・太田遺跡、鳴神貝塚、花山、岩橋千塚古墳群等に囲まれた、往古から開けた土地である。

従来は、農業を主とした農村的な地域であったが、近年の和歌山市の産業の発展、人口の増加にともない、都市のドーナツ化現象があらわれ、本地域も急速に都市化し、住宅が大量に建設され、それに伴う諸機関、商店も増加してきた。

そのような状況から、勤労者の保護者が多く、農業、自営業者は比較的少ない。

都市化の波に比べ、道路整備が遅れていたが、ここ数年前から道路整備が急激に進展している。そのため、児童の登下校には、常に交通安全に配慮しなければならない状態に置かれている。

旧来の伝統的風習を守りながら、開発が進みつつある新しい状況に対応する必要がある、その両側面の調和を学校としても考慮していかねばならない。

### 2. 地区別児童数

	有家	津秦	秋月	鳴神南	鳴神東	鳴神西	鳴神団地	太田八丁	区外	計
1年	22	19	5	24	7	5	7	5	2	96
2年	18	16	7	24	9	4	9	4	0	91
3年	25	28	16	29	5	7	8	0	0	118
4年	22	14	12	27	6	10	7	6	3	107
5年	21	18	18	23	9	9	10	5	2	115
6年	21	21	11	31	10	7	11	6	3	121
計	129	116	69	158	46	42	52	26	10	648

(H26.5.1)

### 3. 児童の実態

- 明るく、かつ純朴な児童が多い。
- 各種スポーツ団体や文化・教育団体等に参加して、放課後や休日に、活動に励む児童が多い。
- 大規模校であるが、一人ひとりの存在感が大きく、自分の課せられた課題に立ち向かう責任感の強い児童が多い。